

# 決算特別委員会会議記録

決算特別委員長 土居 昌弘

## 1 日 時

令和2年10月29日（木） 午前10時00分から  
午前10時32分まで

## 2 場 所

第3委員会室

## 3 出席した委員の氏名

土居昌弘、森誠一、志村学、清田哲也、阿部長夫、衛藤博昭、鴛海豊、三浦正臣、  
嶋幸一、御手洗吉生、阿部英仁、浦野英樹、木田昇、藤田正道、馬場林、尾島保彦、  
玉田輝義、平岩純子、河野成司、猿渡久子、末宗秀雄

## 4 欠席した委員の氏名

なし

## 5 出席した委員外議員の氏名

なし

## 6 出席した執行部関係者の職・氏名

なし

## 7 会議に付した事件の件名

別紙次第のとおり

## 8 会議の概要及び結果

決算審査報告書の検討を行った。

## 9 その他必要な事項

なし

## 10 担当書記

議事課委員会班 副主幹 白岩賢一

議事課委員会班 課長補佐（総括） 冨高德己

# 決算特別委員会次第

日時：令和2年10月29日（木）10：00～

場所：第3委員会室

1 開 会

2 決算審査報告書検討

3 その他

4 閉 会

## 会議の概要及び結果

**土居委員長** ただいまから、本日の委員会を開きます。

本日は、委員会審査報告書の検討を行います。

去る12日に部局別審査が終了した際、委員会審査報告書の案の作成について、私に御一任いただきましたので、森副委員長と協議の上、審査報告書案を作成しました。

お手元の決算特別委員会審査報告書案と、A3の質疑・要望とりまとめ一覧表を御覧ください。

質疑・要望とりまとめ一覧表は、報告書案を検討する際の参考として、皆さんからの質疑・御要望などをまとめたものです。審査報告書案の作成にあたって、特に改善あるいは今後検討を求める事項について、委員会運営要領の決算審査の方針に沿って、盛り込んだところです。

それでは、審査報告書案の内容について、事務局に説明させます。

〔事務局説明〕

**土居委員長** 以上で、審査報告書案の説明は終わりました。

この案について、御意見等はありませんか。

**河野委員** 6ページの②ふるさと大分U I Jターン推進事業についての最後の段落に、「今後は、コロナ禍における制約を幅広い層へきめ細かに対応するための好機と捉え」とあるが、コロナ禍を好機とする言い方は住民感情を逆なでするので、考え直すべきではないかと思えます。

**土居委員長** ただいまの河野委員の御意見について、ほかの委員の皆さんの御意見はありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

**土居委員長** 確におっしゃるとおりですね。

「コロナ禍を好機として捉え」という表現は、配慮した方がよいと思えます。表現を修正したいと思えますが、委員の皆さんいかがでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

**土居委員長** それではそのようにします。

そのほかありませんか。

**末宗委員** 委員長に聞きたいんやけど、俺、注文付けた覚えがあるんよ、偏差値34の問題だね。欠点ということで、確か22.5点じゃったと思うんやけど。下を目指してるんやけど、上を目指さないと教育は伸びないし、大分県の学生たちがそういう教育の中で失速して、世界に羽ばたくことができないようなことではなくて、どの世界でも上を目指して頑張っている世の中で、下を目指して頑張るようなやり方はおかしいということを発言したんだけど、委員長は何もしてくれんからね、俺に。どういう見識かお聞きしたいんやけど。

**土居委員長** その件について、議事録を見ました。執行部の回答は、義務教育というところで、まず、平成18年に、国の義務教育の在り方として、その役割は全ての子どもたちを基準以上に持っていくことと規定されています。その中で、下位層の厚い大分県、他方で秋田県では、下位層が薄いということで、全国1位の成績を取っているわけなんですけども、そこを目指して、下位層の子どもたちを減らすということで、そのような施策を打っているということです。国の施策の方向と県の教育の方向にズレはないと考えています。

末宗委員のおっしゃった発言は議事録にきちんと残っていますが、今回の報告書案にはあげていません。

**末宗委員** 教育が社会を作るわけで、僕たちが若い頃は世界に通用する産業が山ほどできよった。今、この30年間で、僕が見るに、日本で世界に羽ばたける企業はソフトバンク1社。それで、日本の所得が随分落ちている。今は先進国ではなくて、中堅国、もう少ししたら出稼ぎに行かないといけないような経済状況、産業構造。

日本は江戸時代から寺子屋とか教育機関で一

生懸命、学力について頑張ってきた。その成果が、明治維新や戦後の復興につながったわけよ。欠点を取る、そういうのを目指しては、これから先の産業はないわけよ。今までみたいな教育構造を今、正に転換しないといけないときに、こんなのを認めていたら、見識が問われる。議会はいらないよ。教育に対する情熱もない。学生のことばは考へん。正に大分県の議会が率先して、世界に羽ばたくような生徒を育てていけるような教育環境を作らないと、県議会の意味はないよ。それをテーマにもあげんでね。僕は採決するなら反対や。

**土居委員長** 確かに委員のおっしゃるとおりなんですけど、決して大分県の教育が欠点を取るのを目指しているわけではありません。欠点を取る児童生徒を減らしていこうと、底上げを図っているわけで、そこは国の方向性ともズレはないので、改めて報告書案に載せる必要はないと思っています。（「まあ、僕は反対じゃ」と言う者あり）皆さん、どうでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

**土居委員長** そのほかありませんか。

**木田委員** 2か所あるんですが、まず5ページの上から5行目です。令和2年2月以降のコロナの状況が書かれており、財政調整用基金残高の確保とありますが、来年度以降、歳入不足、自主財源不足が懸念されるので、自主財源の確保策についても触れておいた方がいいのかなということが一つです。

それと6ページの保健所及び県立病院の体制強化等についてですが、下から6行目以降です。県立病院ですが、今回、人員不足、欠員も実際あると思うんですが、今年度は精神医療センターの準備があったので、若干、看護師等も回すことができたと思うんです。確か臨床検査技師も欠員があると思うんですが、人員確保というところを触れていただきたいと部局別審査でも言いました。県病の人員確保という文言を入れていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

**土居委員長** 二つ御意見をいただきましたが、

みなさんいかがでしょうか。

確かに最初の御指摘のとおり、コロナウイルスの対応等で自主財源の不足が考えられますので、修正文案について検討します。

人材確保についても、看護師のみならずというところを加えていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

**木田委員** ぜひよろしくをお願いします。

**衛藤委員** 財源確保のところですが、自主財源がなくて苦しんでいる状況の中、具体的にどういうことが必要なのか、イメージはありますか。普通に考えたら、相当難しい話だと思うし、行政的にも答えが出ない話で、そこが一番ネックなのかなと思うんですよね。県税を上げるとか、そういうことを念頭に置かれているのか、そこら辺が分からないので教えてください。

**木田委員** 財政努力が必要というのは当然で、余り大きな話じゃないかもしれませんが、大分県の歳入で他県より少し遅れているのが、ふるさと納税です。企業版ふるさと納税が今、かなり騒がれていて、コロナ禍で大変な企業も多いんですが、影響を受けていない企業もあるわけです。これは特定財源として地方創生に使うと決められていますが、（「財源確保」と言う者あり）そうです。

7ページのワーケーションのところでも触れていますが、効果的な財源を活用しながらというのは、そういう意味です。そういう財源確保策もあるではないかということを含んでいます。

**衛藤委員** よく分かりました。ありがとうございます。

**土居委員長** 木田委員の二つの御指摘について、報告書に反映したいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

**土居委員長** それではそのようにします。

そのほか御意見ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

**土居委員長** それでは、さきほど末宗委員から御異議があったので、お諮りします。

末宗委員の御意見を報告書に反映させることに賛成の方は挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

**土居委員長** 挙手少数ですので、末宗委員の御意見については、採用しないことと決定しました。

それでは、ほかに御意見はありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

**土居委員長** ほかに御意見もありませんので、これで審査報告書の検討を終わります。

審査報告書の文面については、全体構成や個別事業の内容あるいは法令などの再確認が必要な場合もあるかと思うので、委員長に御一任いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

**土居委員長** それではそのようにし、今後、副委員長と協議の上、次回の委員会の準備を進めます。

また、次回の委員会は、11月5日木曜日の午前11時から、本会議場で開きます。

次回の委員会では、執行部の出席を求め、付託された案件の採決を行った後、審査報告書についてお諮りしますのでよろしくお願いします。

なお、決定後の審査報告書と質疑・要望とりまとめ一覧表は、第4回定例会での決算認定後、県議会ホームページで公開しますので、御承知おきください。

この際、ほかに何かありませんか。

**末宗委員** 今、第4回定例会で認定とか言うたね。

**土居委員長** はい。

**末宗委員** 質疑も討論もするけ、委員長頼むわ。

**土居委員長** ほかに何かありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

**土居委員長** ほかにないようですので、以上をもって、本日の委員会を終わります。

お疲れさまでした。